ニュースリリース　　2020 年 2 月 21 日

終活が「自分ごと」になるのは 40 代から!?

「自分の終活について話している」30 代 36.7%、40 代 61.6%

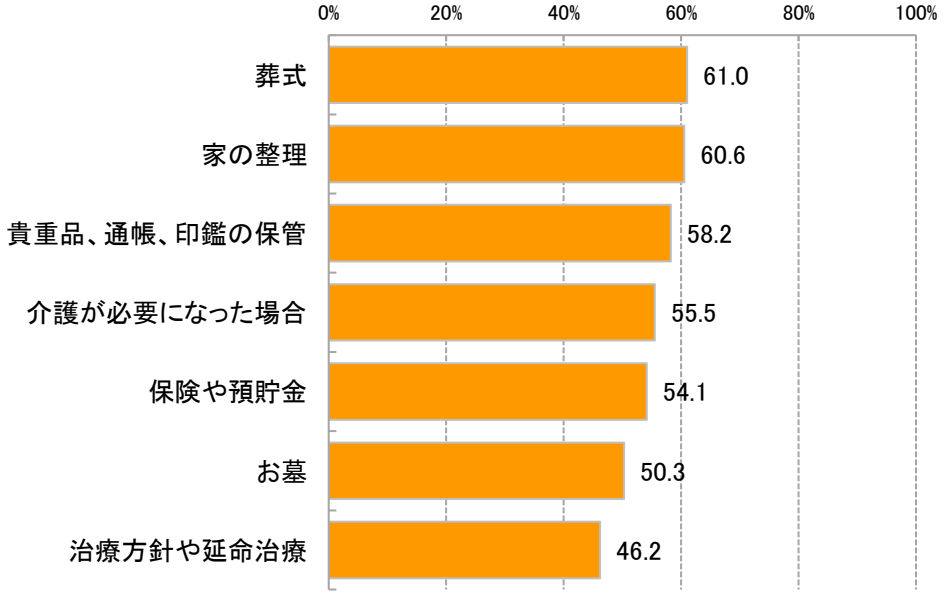
終活で話したいことは「葬式」61.0%、「家の整理」60.6%

「オレンジページくらし予報」では、国内在住の 20 歳以上の女性を対象に「終活」について調査しました。「終活」は、病気や介護に直面したときにどんなケアを望むのか、どんな葬儀をしたいかなど、よりよい最期を迎えるための備えのこと。超高齢化社会に突入し、身近な人の病気や葬儀を経験する機会が増えているせいか、言葉の認知はかなり広まっている模様。そこで、終活で相談したいこと、望む医療、供養の方法などについてリサーチし、「今どき」の終活事情を探りました。

【ダイジェスト】

終活で相談したいことは「葬式」「家の整理」「貴重品や通帳・印鑑の保管」
40 代になると、「親の終活」だけでなく「自分の終活」も視野に入ってくる？
望む供養は「樹木葬」25.5%、「海などでの散骨」24.7%が上位に

[Q]「終活」について、話している、あるいは話したいと思っている内容をお選びください。
(n=857、終活の話をしたことがある人+いずれ話したい人、複数回答のうち上位7つ)

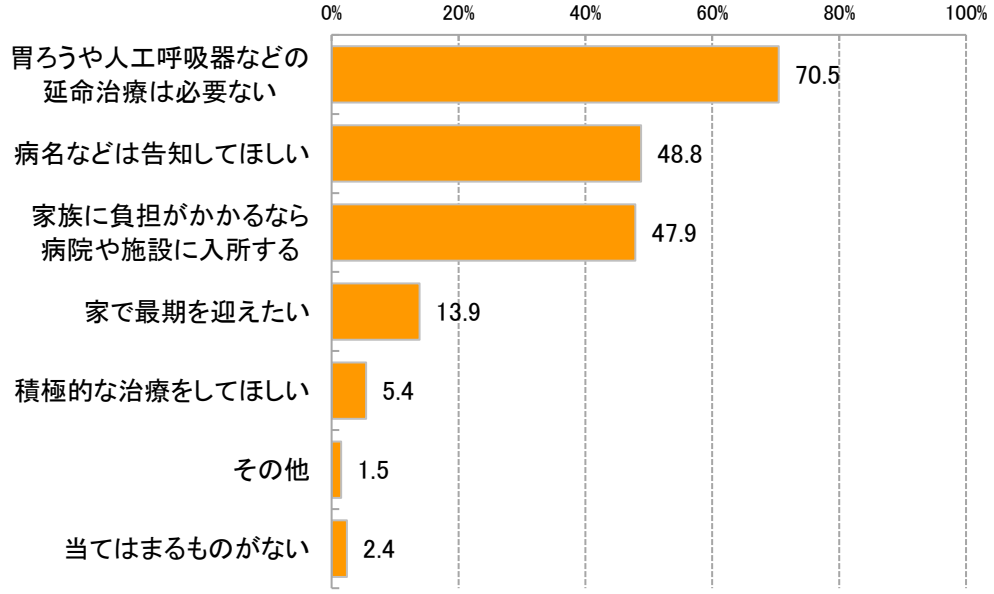


終活で相談したいことは「葬式」「家の整理」「貴重品や通帳・印鑑の保管」

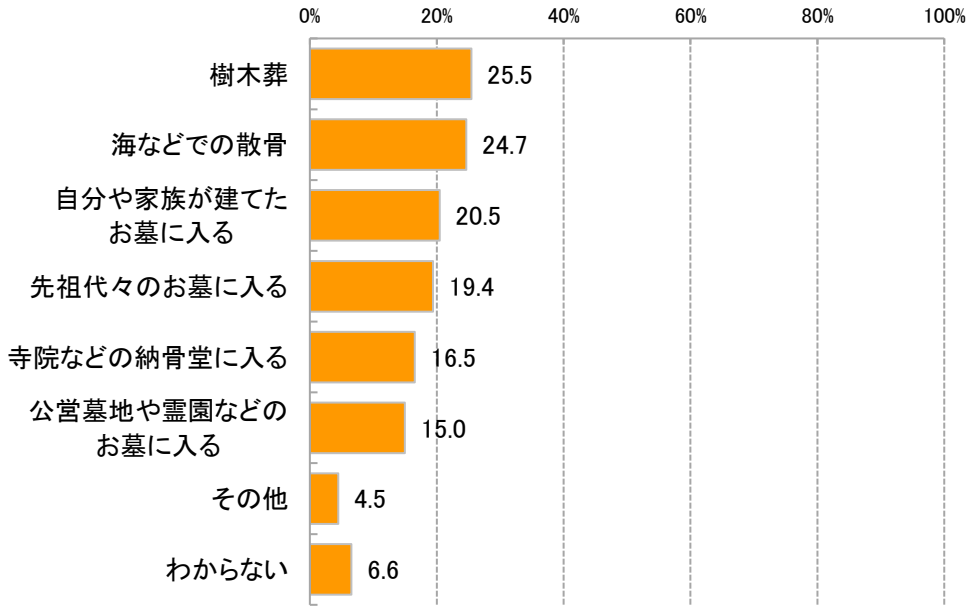
人生の終わりに向けた準備である「終活」は、医療や介護の問題から、お金や相続のことまで、さまざまな要素を含みますが、みんなが相談しておきたいのは、どんなことなのでしょうか。「終活で話していること、話したいと思っていること」をたずねてみると、もっとも多かったのが「葬式」61.0%。いろいろ懸案はあれど、まず「葬式」をどうするのかが、話し合うことのトップに。また、取っておきたいものを選び出し、余分なものを処分する「家の整理」60.6%や、財産を明らかにして、相続などをスムーズに行うための「貴重品、通帳、印鑑の保管」58.2%などが僅差で並びました。それ以降は「介護」「保険や預貯金」などの項目が続き、まさに話すべき課題は山積みといった様子です。

「終活する理由」についてたずねてみると、「家族に迷惑をかけたくない」が 63.3%と、残された人の手をわずらわせたくないという思いが浮かび上がります。これまでに、親の看取りを経験した人の自由回答にも、「

[Q]大きな病気や終末期の治療について、周囲の人に伝えていることを
お選びください。
(n=332、終末期医療の希望を伝えている人、複数回答)



[Q]ご自分が望む供養(埋葬)の方法を教えてください。
(n=381、お墓について考えている人、複数回答)



望む供養は「樹木葬」25.5%、「海などでの散骨」24.7%が上位に

大きな病気や終末期医療について、自分の希望を伝えている人は 34.0%。その内訳としては、「胃ろうや人工呼吸器などの延命治療は必要ない」が他を大きく引き離し、70.5%でトップに。次いで、「病名などは告知してほしい」48.8%、「家族に負担がかかるなら、病院や施設に入所する」47.9%が並びました。終活経験者からは、「医療行為にむだなお金をかけないなど、自分の希望をしっかり伝えておくべき」(40 代・

パート)、「延命の決断は、いざとなると気持ちが揺れると思うので、書面で残しておくと家族の負担が少ないと思う」(50 代・フルタイム)といった声が寄せられました。終末期の治療は、認知症などにより、本人の意思が確認できない場合が考えられます。それだけに、前もって家族に伝えたり、書面に残したりなどして、きちんと希望を伝えておくことが重要なようです。

埋葬方法についてもきいてみると、「樹木葬」25.5%、「海などへの散骨」24.7%など、比較的新しい方法が上位にランクイン。世代別で分析すると、40 代～50 代は「樹木葬」や「散骨」の人気が高く、従来の「お墓に入る」概念にとらわれない人が多いよう。60 代以上は「自分や家族が建てたお墓に入る」が 1 位で、ある意味現実路線。年齢的に、すでに準備していたり、自分なりに考えていたりするのかもしれません。

「終活」という言葉が、新語・流行語大賞のトップ 10 入りを果たしたのが 2012 年。言葉の認知は広まったものの、実施率は「そのうちやろう」という、様子見の人たちが多いのが現状です。超高齢化社会を迎え、突然の病や事故、認知症になる可能性は、より高まっているといえます。さらに、家族が離れて暮らすことが珍しくない今、元気なうちに自分の意思を伝え、「終活」しておくことが、社会的に必要になってくるでしょう。40 歳を過ぎたら、お盆や何かの記念日など家族が集まる機会をとらえて、「終活どうする？」と話し合っておくことが大切なのかもしれません。

アンケート概要

●調査対象:オレンジページメンバーズ・国内在住の 20 歳以上の女性(有効回答数 976 人)

●調査方法:インターネット調査

●調査期間:2019 年 12 月 12 日～16 日

●「オレンジページくらし予報」について

読者モニター「オレンジページメンバーズ」には、さまざまなくらし情報・くらし体験によってはぐくまれた“くらしの目利き”たちが数多く所属しています。そんなメンバーたちの声を集めて＜次のくらし＞を読み解いていくのが「オレンジページくらし予報」です。WEB 上でのアンケート調査、座談会など、ご相談に応じて展開いたします。

●『オレンジページ』について

失敗なくおいしく作れるレシピ情報が支持され、今年創刊 35 周年を迎える生活情報誌。30～40 代の主婦を中心に幅広い読者層を誇ります。発行部数＝318,679 部(2019 年印刷証明付発行部数)。

この資料に関するお問い合わせ

株式会社オレンジページ

くらしデザイン部

kurashi@orangepage.co.jp　Tel. 03-3436-8418